

2024年10月9日

ユネスコ世界ジオパーク国内推薦及び 日本ジオパーク新規認定審査結果

日本ジオパーク委員会

日本ジオパーク委員会は、2024年前期現地調査を行った1地域のユネスコ世界ジオパーク国内推薦と1地域の新規認定の可否について審議し、以下のとおり決定した。

ユネスコ世界ジオパーク国内推薦決定：Mine 秋吉台ジオパーク
日本ジオパーク新規認定：三好ジオパーク

現在、日本ジオパークは47地域である（うちユネスコ世界ジオパークは10地域）。

ユネスコ世界ジオパーク国内推薦決定

Mine 秋吉台ジオパーク

海洋プレートによって運ばれてきた石灰岩体は、古生代末期の約8,000万年分の連続した浅海の環境変化を記録しており、世界的にも貴重である。また、中生代初期の石炭層からは新種の昆虫化石が発見されている。奈良の大仏の造立に使われた銅鉱床などの地質遺産もある。

秋吉台にある拠点施設「カルスター」では、住民を含めた多様なステークホルダーが積極的にジオパーク活動を進め、国内外からの来訪者にジオパークの価値を伝えている。

以上のことから、ユネスコ世界ジオパーク国内推薦を決定する。

日本ジオパーク新規認定

三好ジオパーク

急峻な四国山地と讃岐山脈、吉野川と中央構造線の活動によって形成された平野などの多様な地形地質からなる。剣山や大歩危小歩危溪谷などは特徴的な景観である。山間地の傾斜地集落では厳しい自然環境に向き合う人々の暮らしが営まれている。

地域の住民や事業者、団体が積極的に保全、教育、防災などのジオパーク活動を進めている。また、ガイドによるユニークなツアーは、地域の魅力を来訪者に伝えている。日本ジオパークネットワークへの貢献も大きい。

以上のことから、日本ジオパークとして認定する。

以上